

鳳祭ガイド

11月4日(木)から7日(日)まで



▲ 準備に励む実行委メンバー(右から2人目が高橋委員長)

創立125年専修大学鳳祭が11月4日から7日まで生田キャンパスを中心に開かれる。今年も多彩な企画が目白押しだ。開催中、秋のオープンキャンパス(6～7の両日)が行われるほか、7日には第3回ベンチャービジネスコンテスト、商学部・商学研究所シンポジウムや商学部有志学生による野外イベントも繰り広げられる。今年の生田は例年にも増して熱い!

「地域と連携して」高橋浩之実行委員長

テーマには学生、大学、地域が手を取り合い、輪のようにひとつになれる学園祭を創ってほしい、という思いが込められています。今年の特徴は①地域との協力②ゴミ対策です。①は11月7日に行われる多摩区民祭と協力して地域を活気づけることを目指します。②は毎年問題となっているのでペットボトル回収に協力してくれた方に景品を差し上げたり、空のペットボトルでゲームを行ったりといったリサイクル企画を予定しています。

イベント情報

●11月4日(木)●

☆オープニングセレモニー 13時30分、4号館前特設ステージを出発。学生約100人がキャンパス～向ヶ丘遊園駅間を仮装パレード。

☆前夜祭「何がでるかな!? JACK IN THE BOX !!」15時～。4号館前特設ステージ(雨天時528号教室)。『18KIN』によるコントライブとゲーム。

●11月5日(金)●

☆フリーマーケット 1号館前芝生(雨天中止)。学内外からの出店に掘り出し物が見つかるかも? 隣ではリサイクル企画も開催。両企画とも6日も開催。

☆ゲーム企画「fall fall hole」12時～17時。生田会館前広場(雨天時第1体育館ロビー)。実行委員作成のピンボール。ボールを転がして、豪華景品を手に入れよう! 6日も開催。

●11月6日(土)●

☆講演「角田信朗～熱き魂の正拳突き!!～」12時開場、13時開演。元K1ファイターで、現在はK1競技統括プロデューサー、レフェリーを務める角田信朗氏が自らの格闘技人生を語る。

※前売券500円。鳳祭実行委員会ホームページ、または生田正門前にて発売中。当日券の発売はありません。

☆バンド企画「RIDE ON SOUND」11時～。図書館分館前ステージ(雨天時114号教室)。今年も学内外のバンド10組がライブを繰り広げる。7日も開催。

●11月7日(日)●

☆ミス専大コンテスト「華～笑顔のチカラで咲き誇れ!～」10時開場、11時開演。528号教室。4回目を迎えるミスコン。今年はサークル代表が出演し、自らの栄誉とサークルのプライドをかけ、ゲームに挑戦する。ゲストは第1回の時と同じく『エレキコミック』。

他にも、大型企画として「フットサル大会」(5～7日)「ピンポン大会」(5日)「AREA STATION2004」(5～7日)「わーるどグルメめぐり」(5～7日)「Free Style04」(6日)「学生プロレス」(7日)を開催。

連合県人会主催イベント

◇チロリン村＝正門前駐車場。各県の郷土料理の出店が立ち並ぶ屋台村。ステージではピン

ゴ大会も。

◇ステージ=6、7日の2回開催。両日とも、有志によるアトラクション。

◇教室「鳳最恐伝説」～KILL BEYA=5～7日。436号教室。行列の出来るお化け屋敷。

◇前・後夜祭=鳳祭のオープニングを仮装して盛り上げ、後夜祭は連県の打ち上げパーティー。

【ニュース専修2004年10月号10面】

大学と地域の共生 —まちづくりを中心に—

商学部・商学研究所共催シンポジウム

商学部・商学研究所共催シンポジウムが、鳳祭開催中に後記の通り開催される。
商学研究所では、02年9月、「大学と地域の共生—まちづくりを中心に—」をテーマに実態調査研究プロジェクトを立ち上げ、多摩区役所との情報交換を行いながら生田緑地の活性化を中心に調査・研究活動を行ってきた。今シンポでは、こうした活動の一環として地域社会における学校（高校や大学）の役割について先行事例から学ぶと共に、まちづくりに関する成功要因や課題を参加者と共に探る。

▽日時・11月7日(日)15時～17時

▽場所・生田校舎341号教室

▽内容

☆高校生によるまちづくり成功体験(横浜商業高校、小田原城東高校)

☆大学生によるまちづくり成功体験(早稲田大学、武蔵大学・日本大学、広島修道大学ほか)

☆多摩区における専修大学の活動

【ニュース専修2004年10月号10面】

専修ナビ@生田緑地 スタンプラリーで生田緑地と専大PR

専大生によるキャンパスナビ 鳳祭最終日に開催



▲ 打合せをする佐々木さんと矢澤くん

小田急沿線の高校生をはじめ地域の方々に、生田キャンパスと生田緑地などその周辺をガイドし、専大のイメージアップを図る野外イベントが、鳳祭最終日に開催される。名づけて「専修ナビ@生田緑地(専大生によるキャンパスナビ)」。

これは、商学部創設40周年記念事業の一環として行われる地域イベントで、当日、多摩区民祭が開催される生田緑地を中心にスタンプラリー(ダイエー向ヶ丘店 - 生田緑地 - 専修大学)を展開するというもの。参加者にはオリジナルパーカーと、遊園生活情報誌にもなる「オオトリ商一先生の講義ノート」を配布し、ラリーと共にゲームとキャンパスガイドを楽しんでもらう。

同イベントを企画し、準備を進めているのは、商学部40周年記念事業運営委員会と商学部生有志たち約30人。スタッフの矢澤佑太くん(3・神原理ゼミ)は「キャンパスのすぐそばにある生田緑地の良さはあまり知られていない。四季折々の表情を見せる自然豊かなこのスペースに、もっと親しんでもらいたいと思います。地域と大学との融合というこれまでの学園祭イベントにはない企画です」と話し、佐々木今日子さん(3・梶原勝美ゼミ)は「ポスターやパーカーはみな、学生の感性でデザインしました。参加者募集は私たちが出身高校などに呼びかけています。高校生たちが『専大って楽しいことをやっている大学なんだ』とイメージしてくれたら最高です」と意欲的だ。

【ニュース専修2004年10月号10面】